

# 友の会学習会を開催

## 今がどのような時代なのか

### ～健康格差から考える～

## 憲法25条がいきる社会に！

# 友の会だより

苦小牧健康友の会

苦小牧健康友の会  
発行 発行責任者  
河野 紘  
電話72-3291



11月17日に苦小牧病院会議室で友の会・学習教育部主催の学習会を開催しました。  
勤医協本部組織広報部の福原宏課長を講師にお招きして「今がどのような時代なのか、健康格差から考える」というテーマで講演いただきました。9月の「月間スタート集会」に学習講演として同テーマでお話しをいただきましたが、「是非もつとじっくり聞いてみたい」というリクエストの声が多く出され、今回の学習会の実現となりました。

友の会拡大強化月間に「協力いただきありがとうございます。151名の新しい会員(11月22日現在)を迎えることができました。引き続きご協力をよろしく願います。」

講演では、「低所得ほど、健康への意識は薄れ、健診受診率が低くなる」「高齢者では所得レベルによって最大3.5倍の死亡率の格差がある」ことが資料を基に説明され、その背景として低所得者ほど医療機関の受診を控えざるを得ないなど、「所得」によって寿命が左右されている現状が話されました。  
また、苦小牧市の状況については、子どもの貧困率が24%と深刻で、全国の16%を大きく上回っている。「このことが、「フードバンク」や「こども食堂」などの活動につながっている。」  
一人暮らしの高齢者が15年間で2倍に膨れ上がっている、確実に高齢化が進んでいる。地域での見守りの活動が重要だと指摘しました。  
最後に憲法第25条の規定についてふれ、「第2項で社会保障に対する国の責任について規定されている。」  
この責任がしっかり果たされ、25条の精神が実現できることが大切だと強調されました。  
参加者からも感想、質問が出され、今後の地域での取り組みに繋がる学習会となりました。



## のぞみ町に新たな班が誕生！

# 班名『おりづる班』

10月28日のぞみ町で松下医師を講師に「インフルエンザの予防と治療」というテーマで健康相談会を開催し、13名が参加しました。炊き込みご飯や棒タラの煮付けなど美味しい屋食も頂きながら、笑顔の絶えない終始なごやかな相談会となりました。  
参加は、のぞみ町2丁目の会員さんが中心でしたが、宮前町、明徳町からも参加がありました。  
参加者の中には介護の体験者も多く、今度は、「介護保険」について学びましょう。

うと次回のプランもしっかりと立て、再会を誓いあいました。  
この相談会を契機にのぞみ町に新しい班が結成され、班の名称も決まりました。どのような名前がいいだろうかという名前がいろいろありましたが、「羽ばたくような名前がいい」「健康への祈りも込めて」という理由で、班名を「おりづる班」とする事となりました。これで苦小牧健康友の会26番目の班の誕生となります。

友の会バスのご予約の電話は、平日(月曜日～金曜日)の午前中にお願いたします。電話番号は0144-72-3291(友の会事務所)となります。

- 12月3日(土)見山・松風班健康サロン 13:30～
- 12月4日(日)錦岡ブロックお食事会・健康講話会 11:00～
- 12月6日(火)うさとブロック健康チェック 15:00～
- 12月8日(木)友の会健康教室 14:30～
- 12月13日(火)東部ブロックお食事会 11:30～
- 12月16日(金)第13回ふれあいサロン 10:30～
- 12月17日(土)ふまねっと健康教室 10:00～
- 12月17日(土)第66回院内コンサート 14:00～
- 12月21日(水)12月集会(月間総括会議)18:00～
- 12月26日(月)友の会新聞郵送作業日9:00～

12月の行事予定(詳しくは友の会事務所  
電話:72-3291 までお問い合わせください)



# 花咲く友の会活動



山手ブロック 小形 尚子

「みんな笑顔で会えるのがいいね」  
 11月14日(月)、今年度、久しぶりの山手ブロック花園班班会を開催し15名が参加しました。

有償ボランティアみやま室長の敷千加子さんに「有償ボランティア」の内容についてお話を聞きました。有償ボランティアの実際の事例を通して語っていただき、認知症などと絡めて毎日の生活と心や気持ちのありようを伝えていただきました。

花園班は、町内会館を会場とし、町内会員さん、啓北町の会員さんにお知らせし、今までの参加した皆さんに電話確認して班会を開いています。

参加者の皆さんから「笑顔で語れる場があるのいいね」と班会の重みも語られ、来年の4月には班会を「しましよ」と決め、有意義なひと時でした。

次回の班会に一人でも多くの会員の方の参加をお待ちしています。

## 「有償ボランティア」について学習会

## 「尊厳をこめたお見送り」について

10月27日、友の会「月間」学習の取り組みの一環として社員支部・友の会合同学習会を行い、社員、友の会員、職員30名が参加しました。講師は渡辺満市議会議員(社員支部運営委員)で「尊厳をこめたお見送りについて」というテーマで講演をしていただきました。独居で身寄りのない、ある友の会員Aさんの死亡事例を通して様々な事を考える機会となりました。今回のケースでAさんの死の際、行政は「行旅死亡人取り扱い法」を準用させた結果、「通夜、告別式の省略、担当の民生委員がおりた」という事態が起こりました。

この出来事に潜む問題点として、行政側の法的理解の欠如があった事、その結果、本来、生活保護法の葬祭扶助の範囲内で対応が可能であった



苦小牧社員支部・苦小牧健康友の会 合同学習会 「尊厳をこめた お見送りについて」



11月16日(水) 東部ブロック主催の健康相談会が開催され、30名の方が参加しました。講師は、10月から勤医協苦小牧病院で勤務されている内科の本江勲充先生に「特定健診の上手な活用を」と題して講演していただきました。「特定健診とは、どういうものか」「受けるのと受けないのいいところがある」「実際に受ける時の流れ」の今日の3つの獲得目標について話され、一つ一つについて丁寧に説明されました。「特定健診

## 特定健診の上手な活用を！

### 健康相談会を開催

### 東部ブロック

最低限の「人の尊厳としてのお見送り」さえも叶わなかった事が話されました。苦小牧でも今後、ますます高齢化が進むなかで、困ったときに周囲に相談できる環境があるだろうか?、地域で高齢者を見守る環境があるだろうか?様々、考えさせられる学習会となりました。

11月18日(金) 今回で12回目になるふれあいサロンに16名の方が参加しました。今回のメニュー「豚汁」をおいしくいただいて、心も体も温まった後、学習会にうつりましました。テーマは「嚥下と窒息について」福井言語聴覚士が講師を担当し



## 第12回ふれあいサロン

### テーマ 嚥下と窒息について

は、生活習慣病を早期にみつめて改善につなげる為に非常に大切な健診です。「メタボリック・ドミノをいかに食い止めるか、生活習慣に気を付ける気持ちを持つ事が大事」などわかりやすく話されました。

また、「受診券」が自宅に届いた後の実際の健診を受ける時の流れと、病院についてからの健診の流れについて説明され、さらに、友の会に入会している方への特典(助成)についても紹介されました。

終わりに「健診を受けて終わりにしないで対策につなげましょう」「自分の健康は自分で守りましょう。病院は、その為のお手伝いをさせていただきます」と締めくくりました。

時間の関係で参加者からの多くの質問を受けることはできませんでしたが、非常に丁寧で分かりやすい学習会だったと好評でした。

事務局 原 啓司

# 第66回院内コンサート2016クリスマス

日時:2016年12月17日(土) 午後2時~

場所:勤医協苦小牧病院 外来待合ホール

出演:男声合唱:コール・ヴォイジャーズ  
混声合唱:あかい実  
リコーダー合奏:どれみふあ・どん

★曲目  
「世界に一つだけの花」  
「ホワイトクリスマス」  
「星に願いを」

ぜひ、多くのご参加をお待ちしております。



事務局 原 啓司

た。これから年末年始にむけて「お餅」を食べる機会が増えますが、窒息事故をどのように予防するか、窒息時の応急手当にはどのような方法があるかについて説明された後、いつまでも、おいしく安全な食事ができるように参加者全員で「口の体操」を行いました。

事務局 原 啓司